



だっこするよ

平成31年4月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子

桜満開 やりたい遊びを思いっきり楽しもう 人生はアクティブラーニング

桜満開、新年度は年号も新たにスタートです。進級、ご入園おめでとうございます。新しく55名のお友だちを迎え、216名の大きな昼間の家族です。初めての社会生活にドキドキのお友だち、ママやパパもいらっしゃることでしょ。御安心下さいね。先輩達が沢山います。泣きたくなったら何でも相談して下さいね。

そして、2階に進級する3歳さん達、4歳さん5歳さんのお兄さんお姉さんが待っています。それぞれに背中のリュックに希望を詰めて、新しい担任達と新しい日々と一緒に楽しんでいきましょう。

指定管理園として4年目の春になります。保護者の皆様に支えていただき無事に運営できた毎日であったと心より職員一同感謝申し上げます。これからも変わらずに保育理念である「一人ひとりのこどもを大切に こどものための保育園へ」を保育から伝えていきます。一人ひとりの持つ人格の尊厳を守り、幼児教育施設として幼児期の終わりまでに育てて欲しい10の姿を活動のプロセスに織り込みながら小学校からの「主体的で、対話的で、深い学びへ」につながる体験を積んでいきます。そう自分で体験しないと学びは生まれません。そして成長と共に「個」から「仲間」を求めて共に様々な総合的な学びへとつながっていきます。

31年度も五感力を育み、主体的な保育を行います。赤羽の地域社会をとことん遊び場にして健康な心と体を育てます。そして、近隣の保育園、小中高等学校、自治会の皆様、ディーサービスさんとの関わり、消防署や公園やスーパーに出かけ、美しい自然と出会い、街を歩いて歩いて「今ここで」生きていることを感じて欲しい…その時間が、きっと子ども達の生きる根っこになるでしょう。そして、多様な大人達と子どもたちが会える機会を持ちたいと考えます。食育で魚光さんにブリの解体を見せて頂くこと、篠原ライスさんや生産者の板垣さんにお米が園に届くまでの一年間を語って頂くのも、保護者から火起こしを学んだのも貴重な経験でした。広葉樹と針葉樹の薪の使い方、松ぼっくりが燃料になることを初めて知りました。そうです。生きた知恵を学ぶ機会=なんて素敵なお教育だろうと思います。ネットからの情報はあふれていても、実際に目の前で見てくれ、感動が生まれるのは、生身の人間こそです。どう豊かに生きるのか、こんな時にどうしたらいい？また、園がコミュニティになればと思います。大人も「子育て」や「日々の悩み、戸惑い」を自由に話せる場作りが出来たら…と園をそんな対話のある場にしたいと考えています。良いアイデアを聞かせて下さいね。

昨今、日本の少なくなるこどもをどう育ててくのか、幼児教育への関心が高まっています。汐見俊幸氏（東京大学名誉教授）は、「21世紀は、解のない問いに解を見出せる人材を育てなければならない。『個人と社会の相互関係』『自己と他者との相互関係』『自律的に行動する能力』が未来の子どもたちに必要な能力である。」と。中国の黄砂問題、アフリカの森林伐採、温暖化、台風、災害の大型化など地球規模の環境問題は、深刻です。立ち向かう力を育てるのは、乳幼児期の受容的な保育、応答的な保育と言われます。自分を愛し、友達と協力しながら、好きな遊びに夢中になる中でその力は育つのだと信じて育てたいと思います。

初めての集団生活や進級で4月は、元気そうに見えても疲れていることがあります。心と体を丸ごとぎゅっと抱っこして下さいね。抱っこは心を通い合わせる魔法です。実は、大人にとっても抱っこしてこどもの体温を感じると心がじわ〜と落ち着いてきます。スキンシップ=くっつくこと（アタッチメント）は大切ですね。お試し下さいね。新生活でご心配に思われることや不安なことがありましたら、いつでも遠慮なく職員、また事務所にお尋ね下さい。2019年どうぞ宜しくお願い申し上げます。

写真は、第3回卒園式の様子 それぞれに自分の夢を語り、素敵な1年生の顔でした。おめでとうございます！